お客様　各位

いつもアクセスのＬＰＧ販売管理システムをご利用頂きまして誠にありがとうございます。

２０２４年１０月から、郵便料金が値上げされることはご存じであると思います。

葉書　　６３円　⇒　　８５円
封書　　８４円　⇒　１１０円　（５０ｇまでに拡張）

昨今、ＬＰＷＡの普及などで、検針業務での訪問は少なくなりましたが、検針結果のお知らせや、請求書の送付などで、「紙の媒体」「郵便での送付」は逆に増えてきていると思われます。更に、紙の印刷にかかるコストもトナーなどの値上がりで、増大しています。

例えば、１０００枚の葉書を送付すると次ようなコストになります。（１０月以降）

印刷代	１１円	（トナー、印刷機）
紙代	２２円	（圧着葉書）
送料	８５円	
小計	１１８円	
合計	１１８、０００円	（税抜で１０７、２７２円））

これらの費用が毎月かかるということで、あまりうれしいことではありません。
お客様から、「発行手数料」を徴収することもアイデアではありますが、今までの慣習上なかなか踏み切れないものです。（お客によって対応がバラバラになりがちです）

そこで、アクセスでは、別紙にあるように、②、③、④の方法をご提供しています。

②の方法では、ＰＤＦ作成プログラム、メール送付プログラムを、月額、５５００円でご提供します。（ＰＣ１台の価格）（顧客数は制限無し）

③の方法では、月額は、２２０００円（１０００件以下）です。
詳しくは、HTTP://www.acclpg.co.jp/whatsnew/webseikyu.pdf　を参照して下さい。

④の方法では、②の機能のアドオンとなります。（自振予定、クレジット予定、検針結果）をメール送信できます。

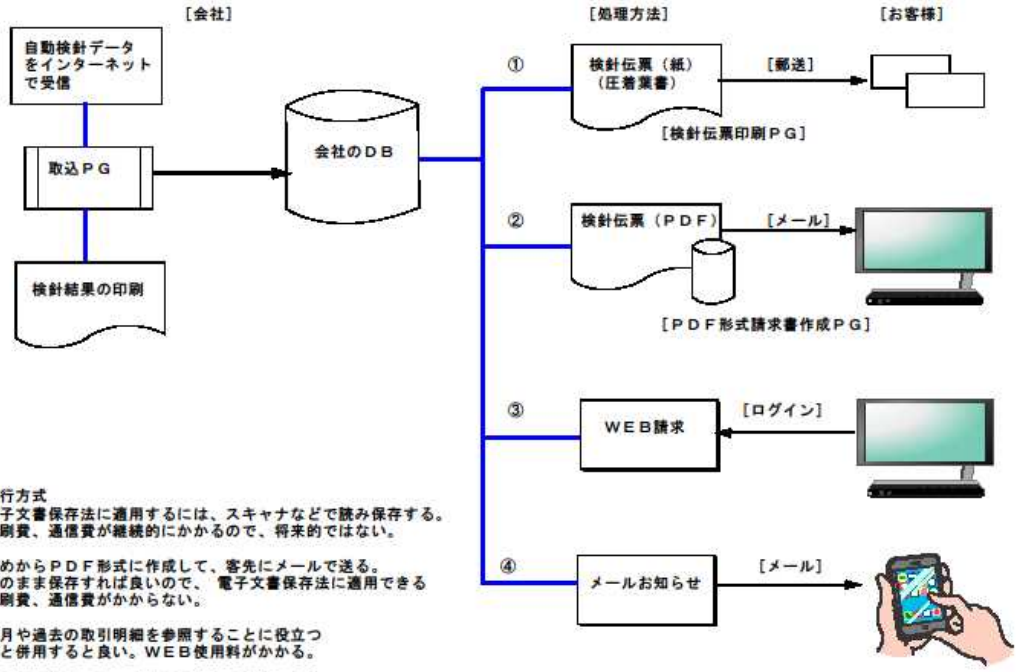
業務用のお客には、従来の請求書イメージが必要になると思われるので、実際には、すべての機能が要求されるかもしれませんが、**「紙の送付は減らす」**　ということは大いに考慮すべきことと思います。

◎金額は、税込で記載しています。

別紙

自動検針の取込と消費者へのお知らせ方法について

２０２３．３．２０
株式会社アクセス



①現行方式
電子文書保存法に適用するには、スキャナなどで読み保存する。
印刷費、通信費が継続的にかかるので、将来的ではない。

②初めからＰＤＦ形式に作成して、客先にメールで送る。
そのまま保存すれば良いので、 電子文書保存法に適用できる
印刷費、通信費がかからない。

③当月や過去の取引明細を参照することに役立つ
②と併用すると良い。ＷＥＢ使用料がかかる。

④当月分のお知らせ、自振のお知らせなどに役立つ。
②③との併用も可能。

アクセスで提供できる「請求」の形態をまとめました。組み合わせることも可能です。
その他に、「圧着葉書」による検針結果のお知らせ、「コンビニ納付書郵送」による請求が可能です。
費用のかかるものがありますので、アクセスまでお問い合わせ下さい。

メール送信機能については、次のページも参照して下さい。

メール機能改良についてのお知らせ

２０２１年７月のお知らせから改良しました。

システムでは、お客様へのお知らせについてＥメール（SMSを除く）を送る機能を用意していますが、この度いくつかの機能追加を行いました。
追加したことで、以下の情報をシステム組み込みのメール送信機能として使用することができます。
他のソフトとは独立しているので、ＯＵＴＬＯＯＫやＳＨＵＲＩＫＥＮなどとの連携はできません。

送信できるメールの種類

(1) 検針結果を、得意先にお知らせする。自動検針で役立ちます。
(2) 自振予定を、得意先にお知らせする。
(3) 自振で不能になったときに、得意先にお知らせする。
(4) クレジット振替予定を、得意先にお知らせする。
(5) クレジット振替ができなかった得意先にお知らせする。
(6) ＰＤＦ形式にした請求を、お知らせと共に送る。
（添付ファイル）
(7) 任意のお客に、任意の文書をメールで送る。
(8) 社員に、お客からの連絡事項をメールで送る。
(9) 配送先毎の検針データをまとめて、配送先に送る。
（添付ファイル）
(10) 固定の相手先に任意のデータを送る。
（添付ファイル、相手は固定）

送信したメールは、「メール送信履歴」で確認することが可能です。

詳細は、「７．１８　メール送信機能」の操作説明書を参照して下さい。

＜注＞メール送信機能は、ＰＣ毎に設定する必要があります。
①設定料金（～１万円）が必要です。
②プログラム使用料として、５０００円／月額が必要です。
（ＰＣ毎）